

芝山町総合教育会議(議事概要)

令和元年10月10日(木)

南庁舎(中央研修所)

2階 第1会議室

13:55~15:53

出席委員

相川町長、内田教育長、鈴木委員(職務代理)、醍醐委員、真行寺委員、宮原委員

関係部署出席者

企画空港政策課 高橋課長、山崎企画調整係長

総務課 行方財政担当課長、秋庭副主幹

福祉保健課 齋藤課長、小川子育て・保健衛生担当課長、金親子育て支援係長

まちづくり課 金親副主幹

事務局

総務課 小川課長、井上副主幹、

教育課 小川課長、山本学校教育担当課長、小川学校教育係長、
中井主査

1. 開会

- ・委員紹介、関係課長・係長等は席次表をもって紹介とする。
- ・総合教育会議の公開及び傍聴について(今回の傍聴者なし)

2. 町長挨拶

- ・相川町長あいさつ

3. 芝山町総合教育会議について

- ・芝山町総合教育会議(概要)について …【資料1】
 - ・芝山町総合教育会議設置要綱について…【資料2】
 - ・芝山町教育大綱について …【資料3】
- (事務局より説明)

4. 協議・調整事項

- ① 令和元年度教育関係事業について…【資料4】
(学校教育担当課長、教育課長より説明)
- ・質疑・意見等なし

② 令和2年度教育関係事業予定について【資料4】

(学校教育担当課長、教育課長より説明)

(委員からの意見等)

- ・通学路の整備について検討するとなっているが、どのように具体的に考えているか。
子どもを守るためにはスピードをもって行ってほしい。何かあってから処理するのでは遅いので、事前に準備していくことが重要ではないか。

(回答)

- ・危険箇所を洗い出し、担当課と整備方針等を検討していきたい。

(委員からの意見等)

- ・学校教育施設に関する学校・PTAとの検討会について、PTA役員だけでなく保護者全体の意見を集約してほしい。

(回答)

- ・そのような形で進めていきたい。

(委員からの意見等)

- ・ICT支援員の月2回は学校からの要望なのか？タブレット・無線LAN導入は町としては遅いかなと思う。タブレットの利用を自信をもって授業ができるような取組みを考えてほしい。

(回答)

- ・支援員の配置の要望は学校からあるが、回数については予算も考え、2回が妥当であると思われる。現状をふまえ回数については検討していく。

③ その他

1)通学路について…【資料5】

(学校教育担当課長より説明)

(委員からの意見等)

- ・スクールバスの発着所から学校までの道路は色付けされており、小さな児童も安全に通学することができる。なので、今後もこのような取り組みをしてほしい。
- ・スクールゾーンや通学路の指定は、交通事故からの防止や防犯に役立つ。町は、高齢者の割合が多いので事故が起きやすいと思ってよい。町の防犯カメラの設置台数が少ないと思うので、犯罪から町全体を守るといった前提で設置することがよいのではないか。

2)教員の働き方改革について…【資料6】

(学校教育担当課長より説明)

(委員からの意見等)

- ・今、教員になりたい若者が少なく、人材が不足している現状がある。
- ・町により、支援員等を学校に配置していただききめ細かな指導ができており感謝し

ている。しかし、まだまだ残業を多くやっている教諭がいることが疑問である。多岐に渡っての仕事が多すぎるためなのか、ここをどうにかできないものか。教諭の健康を考え、引き続き支援員等の配置をお願いしたい。

(回答)

・思い切った行事の削減が必要かもしれない。

(委員からの意見等)

・働き方改革のためにいろいろと対策をいただいている。しかし、各自の認識が足りていないのではないか。学校であれば、管理職、PTA全てが協力して、環境づくりをしていく必要があるのではないか。対策は十分であると思うが、個人の自覚が足りていないのが今後の課題と思う。

・中学校の朝練をなくしたがその効果は？小学校はいかがか。

(回答)

・始まった当初は、いろいろな意見をいただいた。朝練をなくしたことで、教員、生徒だけでなく、保護者にも時間の余裕ができ、ゆとりをもって学校へ送り出すことができている。小学校は陸上、球技、体操大会間際の期間を設けて実施。

(委員からの意見等)

・少子化、職員の働き方改革から部活を減らすとか、朝練をなくすとかが一方的に学校から出た。今後「部活動に対する在り方検討委員会」などで話し合うことがあってもいいのかなと思う。

(回答)

・数年前から社会体育に移行していこうという話があるが、まだその流れには乗って行っていないのが実情。部活は学校だけで行うものと考えていくとなかなか進めていく事ができない。「部活動に対する在り方検討委員会」にはスポーツ推進委員や地域の人々など様々な方を含めて検討していければいいかと考えます。

3)外国人児童生徒の受け入れについて…【資料7】

(学校教育担当課長より説明)

(委員からの意見等)

・学校への負担が増えるので、町で事前にトレーニングできないか。1クッションにおいて入学するとかできれば、学校の負担も減るのかなと。

・これから将来的に外国人は増えると考えます。日本語ができないと話にならないので、町独自の政策として日本語指導をやった方がよい。そのための研究、施設の視察など実施してはいかがか。

・放課後特別に指導したり、子ども同士でいる方が早く覚えることができたりする。

・日本語がわからない子どもいると教員への負担が増えるので、支援員を配置してほしい。子どもは子ども同士でいる方が驚くほど速く吸収していけるが保護者との意

思疎通が大変なので、仲介してくれる人がいてくれると非常に助かる。何か国語で作成した資料の用意があってもいいのではないか。

・外国人の受け入れは、これからの芝山の大きなまちづくりの課題であるので、町全体で取り組むべきである。

4. 学校教育施設のあり方検討の結果について…【資料8】

(学校教育担当課長より説明)

・質疑・意見等なし

5. その他

(委員からの意見等)

・東上総管内では教師へのアンケートは実施しているか？教師のいじめなどがニュースになっているが、教師の様子を十分にみてチェック、指導してほしい。

・教員だけでなく教育委員会事務局のなかでも、特に各団体の事務局をもっているのもその仕事を役員に割り振るとか働き方改革を検討してほしい。

・行政側への要望としてですが、これから人口は減っていくと思われるので町全体で人を増やせるように、人が安心して暮らせる魅力ある街づくりをしてほしい。

また、今年、中学生の修学旅行を海外としたことは評価できる。姉妹都市、交流都市をつくったりしてもっと外国人と交流をしてほしいなど希望します。

・中学校では新しい事業(修学旅行)をしていただいて成果が出たようなので、小学校の修学旅行等も検討していただければと思います。

・子ども達が楽しい気持ちで足を運べるような図書室にしてほしいので、司書教諭ではなく「図書館司書」の配置を2校兼任でいいので希望します。

公民館や福祉センターにもある図書室も中途半端な感じがするので、町民の方が利用しやすい形にいただければと思います。

6. 閉会